

成績評価・客観的な指標の算出方法

A. 成績評価の方法

- 単位取得の認定は、以下の条件をすべて満たしたときに認定する
 - ① 考査の採点は100点満点とし、50点以上を合格、単位取得は各考査と平常点（出席の状況・学習態度も含む）の成績を総合して判定される
 - ② 時数（実授業時数－欠課時数）が実授業時数の3分の2以上であること。なお、考査・研修などは実時数に加える
 - ③ 学年末成績評価の平均が60点以上であること
- 理由なくして定期考査を受験しなかった者には単位を与えない
- 成績は試験の終了後1ヶ月以内に保護者（成人の場合は保証人）と学生に通知される。但し、不可の教科科目に関しては、試験終了後2週間以内に通知する
- 成績に疑義ある場合は、通知後1週間以内に限って照合に応じる
- 学業成績は科目ごとに、次の4段階法の基準によって評価される
 - ① 100点～80点 優
 - ② 79点～60点 良
 - ③ 59点～50点 可
 - ④ 49点～ 0点 不可

B. 客観的な指標の算出方法

1. G P（グレード・ポイント）付与

- ・学年度末の教科科目ごとの成績評点及び評価に対し、G Pを付与

判定	評点	評価	G P
合格	100点～80点	優	3
	79点～60点	良	2
	59点～50点	可	1
不合格	49点以下	不可	0

2. G P A算出方法

- ・学生ごとの学習成果の総合的な数値化及び客観的な把握

①教科科目ごとの数値を算出

- ・当該科目のG P×当該科目の授業時数

②教科科目の合計値を算出

- ・①の数値を合計

③G P A数値を算出

- ・合計値÷教科科目の総授業時数

【算出式】

$$\frac{3 \times \text{優の修得授業時数} + 2 \times \text{良の修得授業時数} + 1 \times \text{可の修得授業時数}}{\text{教科科目の総授業時数（「不可」の授業時数含む）}}$$

※G P A数値の小数点第3位を四捨五入